



## ■ STORY

国民にとって希望の光であった若きアルゼンチン大統領夫人エヴァ・ペロンの死に、国中が大きな悲しみに暮れる。エヴァとは、一体どんな女性だったのか？ 群衆の中の一人の男、チェが、物語を紐解いていく。

アルゼンチンの貧しい片田舎に生まれたエヴァは、私生児であったために不遇な少女時代を送った。

その生活から抜け出すために女優を志した彼女は、首都・ブエノスアイレスに向かう。

大都会での成功を夢みて辛い下積み生活に耐えるエヴァは、ラジオ番組に出演したことを機に一躍有名に。やがて、陸軍大佐として当時の軍事政権を動かしていたホワン・ペロンと運命的な出会いを果たす。

エヴァはペロンに急接近し、成功を勝ち取りたいという野心的な二人はたちまち恋に落ちた。

共に戦略を練り、政治活動を繰り広げる二人は結婚し、労働者層に絶大な支持を得ていく。

その結果、ペロンは民衆の心を掴んで大統領選で勝利。

ファーストレディとなったエヴァは、新生アルゼンチンの象徴として国民の支持を一身に集めた。

貧しい人々を助けるための財団を設立する一方で、集めた資金を私財に使うなど、悪事にも手を染めていたエヴァ。絶頂を極めた彼女だが、その時間は長く続かなかった。

病魔に冒されたエヴァは、副大統領としての地位を目前としながら、アルゼンチンの人々への永遠の愛を誓いながら 33 歳の若さでこの世を去る。

彼女の生きざまはアルゼンチンにとって、また世界にとって、忘れ得ぬ記憶となるのだった――。